

2021年1月10日 聖餐式説教

本日は、顕現後第一主日であると共に、主イエスが洗礼を受けられたことを記念する日です。さきほどの福音書には、主イエスがヨハネから洗礼を受けられたことが書かれておりました。そしてこれが主イエスの宣教生涯の初めだったことから、大変重要な出来事であったということが出来ます。

さて、洗礼とは、私たちもよく知っておりますように、罪のうちに生まれ、怒りの子であった私たちが、神様につながれ、罪が赦されて、私たちに天国の道が示される、そういうお恵みでした。ヨハネはその目的で人々に悔い改めと洗礼を伝えていたのです。

主イエスは聖霊の働きによってこの世に来られました。罪のうちに生まれたのではありませんでした。そして神様とはしっかりつながっておられました。主イエスの宣教とは、天国を宣べ伝えることでしたから、洗礼によって天国の道を示す必要もありませんでした。洗礼者ヨハネのもとへ主イエスが来られたとき、ヨハネが当惑したのは当然のことでした。

それでは何故主イエスは洗礼を受けられたのでしょうか。まず、洗礼は他の宗教から改宗する人々のためのものでありました。ヨハネが洗礼を授けるため現われたときまで、ユダヤ人はそれまで一度も洗礼を受けたことはありませんでした。洗礼を授けたことはありましたが、自らが受けたことはなかったのです。罪に汚れた改宗者たちには洗礼が必要と考えていたのです。しかし、神様によって選ばれた民であるユダヤ人は洗礼に必要はないと考えていたのです。ユダヤ人はアブラハムの子孫であるが故に、永遠に天国の身分が保証されていると思っていたのです。しかしヨハネは、そうではなく悔い改めにふさわしい実を結ばなければ天国に入ることは出来ない、と悔い改めの洗礼を宣べ伝えていたのです。このヨハネの登場によって、ユダヤ人は初めて、自分の罪を認めて神様を真剣に求めたのです。悔い改めて神を慕い求める心が、ユダヤに人々の心に宿ったのがこの時だったのです。主イエスのさきがけとしてこの世に来たヨハネの使命が十分果たされたのです。

主イエスはこのときの到来をずっと待っておられたのです。今こそ、かつてないほど切実な思いで人々は罪を自覚して神様を求めました。主イエスはこの時、神様によって定められたときが満ちたと判断されて、洗礼をお受けになり、

神様を求める人々と一体になろうとされたのでした。主イエスが洗礼を受けられたのは、新しく罪を自覚して神様を求めようとする心を持った人と、同じ立場に立とうとされるためだったのです。洗礼を受ける必要のない主イエスが洗礼を受けられたのは、このように私たちが神様を求める心をいつまでも失わないためであり、主イエスご自身も神様を常に求めておられたことを明確にお示しになるためだったのです。そして主イエスが洗礼を受けられたとき、神様の声が聞こえ、聖霊が降ったのでした。劇的な、そして苦難に満ち、目的地は十字架であった、主イエスの宣教の開始だったのです。主イエスに与えられた聖霊は、この世に出て行って天国を宣べ伝えるために、神様から与えられた賜物だったのです。

私たちが洗礼を受けたとき、また堅信式の際按手によって与えられた聖霊は、このとき主イエスに与えられた聖霊を本質的には同じ存在です。すなわち派遣のための聖霊なのです、この世に出て行って主イエスを宣べ伝えるために、神様から与えられた賜物なのです。本日私たちが主イエスの洗礼を記念するのは、人間が罪を悔い改める存在であることを人々が初めて認め、神様を求め始めた出来事だったからであり、私たちにもこの世で宣教する例の賜物が与えられていることを、思い起こすためであるのです。主イエスは洗礼を受けられ、私たちと同じ側に立たれ、その模範を示されました。

洗礼は主なる神が定められた救いのご計画であり、私たちが洗礼を受けたのもまた、偶然ではなく、主なる神の定めた時だったのです。